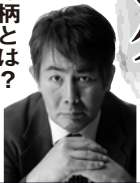


連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード



いよいよ決算相場！ 狙える銘柄とは？

外部要因主導で戻りを試していた東京市場も外部要因軟化とともに小休止。指数の動きは不安定で、全体観も傾け難いが、これまで発表された鉱工業生産、日銀短観、機械受注、景気ウォッチャー調査など重要経済指標は「先行き改善」を示しており、この局面で過度に弱気になる必要もないだろう。

ただ、決算相場入りした米国市場に遅れる形で、東京市場も来週から決算シーズンを迎える。全体観も決算シーズン特有の「神経質な展開」に陥りやすく、ここは個別視点で臨みたいところだ。

今回の決算相場のポイントは、震災による業績の影響と期初想定との「乖離」だろう。2月期決算の第1四半期業績では、保守的予想に反して震災特需発生などで増額修正を行う企業も目立った。3月期決算企業でも保守的予想に増額期待が漂うほか、業績予想「非開示」とした企業も今期予想を明らかにしてくるだけに、事前の業績判断基準を持ち合わせておけば、絶好の投資機会となると見る。

そこで弊社では、今回の決算シーズンにおける投資戦略をまとめた「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売することにした。厳選銘柄やレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。